

第4回高知県公立大学法人評価委員会 議事要旨

平成22年3月19日(金) 14:30~15:40

場所：高知会館2階 天平の間

出席者

評価委員：藤戸謙吾(委員長) 青木章泰 荻上紘一 寺田覚 藤田正憲
県：村山文化生活部副部長、土居私学・大学支援課長、林補佐
中村チーフ 石田
高知工科大学：山本事務局長 久武総務統括部長

委員長

年度評価実施要領案について、事務局から説明をお願いします。

事務局

・・・説明・・・

A委員

「必要に応じて業務改善等を勧告する」とあるが、誰が誰に勧告するのか。

事務局

法の規定により、評価委員会が法人に勧告する。

B委員

評価委員会の評価は5段階評価だが、5段階だと3の評価に収斂することが多いのではないか。

A委員

大学評価では、全国的に3ではなく4が標準。計画どおりに出来ていれば4、概ね順調に推移すれば3。「概ね」は計画をやや下回ることを意味する。今回の目安では、3と評価されることは、自己評価において不十分とされるBとCが含まれることを意味する。

事務局

大学評価においては、4以上が当たり前というイメージがある。

A委員

国立大学法人は、4の評価を得て安心する。5の評価は、特筆すべき内容でない限り付けられないことから、非常に少ない。

B委員

評価委員会で考え方を統一する必要がある。

C委員

順調に進捗していれば、4と評価することとしてはどうか。数値目標を含むものについては、達成できなかった場合に厳しく評価されるので注意が必要。

A委員

評価に際しては、全国と同様の基準で評価する必要がある。
なお、今回の要領では、4の評価にも2種類あり、一つはすべてSかAである場合、もう一つはすべてSとAではないが、評価委員会が4相当と認めるもの。後者については、評価委員会の判断が重要。

D委員	教育研究の外形的な進捗状況を評価することの意味は。
A委員	年度評価では外形的な進捗状況のみを評価するが、中期目標期間終了時の評価においては、法の規定により、認証評価機関の評価を踏まえて評価を行う。
委員長	記述式評価はどのような形で行うのか。
事務局	先行法人の事例を参考に準備する。
B委員	法人の自己評価における措置という文言の意味は？
事務局	中期計画の大項目のこと。
委員長	年度評価実施要領案を原案通り承認してよろしいか。
他委員	異議なし。
委員長	年度評価実施要領案を原案どおり承認する。
	次に、利益処分について、事務局から説明をお願いする
事務局	・・・説明・・・
C委員	「学生納付金等が当初予定額を上回った結果生じた利益」とは、どのような場合を想定しているのか。
事務局	定員を超えて入学した学生にかかる学生納付金等を想定している。
D委員	「事業を予定どおり行えば収支が均衡する」とはどのような意味か。
事務局	県が公立大学法人に、収支差額に見合う運営費交付金を交付することで収支が均衡することになっている。
B委員	自己収入と標準収入の差額こそが、経営努力によるものではないか。
事務局	大学の自己収入は、授業料、入学金等の学生納付金、及び外部からの研究費等で構成される。
D委員	年度評価における評価委員会の評価は、どのように経営努力認定に影響するのか。
事務局	評価委員会が、全体として行うべき業務を行っていないと評価すれば、

剰余金の全額が経営努力認定されない。

- D委員 評価委員会の評価が良好であることが前提ということか。
- 事務局 そのとおり。
- A委員 定員を超える学生がもたらす自己収入の増加は、経営努力が認定されるが、県はその分運営費交付金を削減することはないのか。
- 事務局 その年度の運営費交付金は削減しない。次年度以降は、増加した学生数を含めて、新たな条件で運営費交付金を算定する。
- D委員 全国の公立大学法人においては、剰余金について経営努力が認定されなかった事例はあるのか。
- 事務局 現在のところはない。
- A委員 大学院課程では多くの法人が定員割れを起こしている。
- 事務局 今回の仕組みでは、学部、大学院を合わせて算定している。
- C委員 経営努力認定された剰余金の用途は。
- 事務局 法人が、中期計画で定められた用途に使用する。
- A委員 法人のやりやすいようにすることが望ましい。
- 委員長 学生収容定員の充足率の基準として、90%と別に85%を設けている理由は。
- 事務局 過去に定員割れした学年があるため、一時的に基準を低くしている。
- 委員長 年度評価実施要領案を原案通り承認してよろしいか。
- 他委員 異議なし。
- 委員長 年度評価実施要領案を原案どおり承認する。
次に、今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 . . . 説明 . . .
- 委員長 本日の会は、これで終了する。(了)

